

保護者の皆様へ

プールがはじまり、こどもたちの楽しそうな声が校舎いっぱいに響いています。安全にプールに入るためには、保護者の皆様の日常の健康観察がとても大切になってきます。引き続き、健康観察の継続をよろしくお願ひいたします。

なお、今年はヘルパンギーナ、RS ウィルス感染症、インフルエンザ等様々な感染症が全国的に報告されています。下記に夏に出やすい感染症について記載させていただきます。出席停止の感染症と診断された際には、「学校伝染病の報告書」の提出が必要となります。HP からもダウンロードができますので、ご活用ください。

夏に出やすい感染症



てあしきちびょう
手足口病



りゅうこううせいかくつまくえん
流行性角結膜炎(はやり目)



いんとうけつまくねつ ぶーるねつ
咽頭結膜熱(プール熱)

主に手のひらや足のうら、口の中に水ほう性の発疹が出ます。口の中の水ほうがつぶれると痛みます。
出席停止期間：発熱や、口の中の水ほう・潰瘍がなく、通常の食事がとれるようになれば登校可能。

目やにが出て、目が充血し、のどの痛みもあります。発熱を伴うこともあります。
出席停止期間：医師において、感染のおそれがないと

高い(38~40°C)熱が出て、白目が充血したり、目やに、のどの痛みが出ます。
出席停止期間：主要症状が消退した後2日を経過するまで。

でんせんせいのう しん
伝染性膿か疹(とびひ)



虫さされやあせもなどをかいりしてできた傷から細菌が入り、水ぶくれができます。
出席停止期間：なし
ただし、水ぶくれやびらんが軽快するまでプール不可。



ヘルパンギーナ

高熱(38~39°C)が急に出て、のどの奥に水ほうができ、のどが痛みます。
出席停止期間：発熱や、口の中の水ほう・潰瘍がなく、通常の食事がとれるようになれば登校可能。